



ミニかわら版

〒124-0012

東京都葛飾区立石 1-12-11 ヤマダビル

TEL : 03-3694-6091 FAX : 03-3691-6680

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

2020年の有給休暇取得日数は世界的に低下の傾向

2020年は新型コロナウイルス感染症が世界中の人々の生活に多大な影響を及ぼしましたが、大手総合旅行のエクスペディアが世界16地域9200名を対象に実施した毎年恒例の「有給休暇の国際比較調査」結果によりますと、2020年は世界的に有給休暇の取得日数が例年と比較して少ないことが明らかになりました。調査地域のなかで唯一、例年より有給休暇取得日数が増加したのは「台湾」で、通常は14日のところ2020年は15日と1日増加しています。

2020年に有給取得日数が最も多かったのは「ドイツ」（例年30日）と「フランス」（同28日）の25日で、ともに例年よりも減少しています。日本では例年10日に対して2020年は9日と1日減る結果になりましたが、その他の地域と比較すると大きな変化はありませんでした。昨年までの調査では、日本は世界で有給休暇の取得日数が最も少ない傾向にありましたが、2020年は日本より有給休暇取得日数が少ない地域も多くなりました。

有給休暇を取得しない理由として、世界的には「新型コロナの影響でどこにも旅行できない」（33%）というものが最多となり、新型コロナにより出かけられなかったことが世界的な有給休暇取得の低下に影響を与えていることが分かりました。一方で、日本では「新型コロナの影響でどこにも旅行できない」は3位（12%）で「緊急時のために取っておく」（30%）との回答が最も多く、2位に続いた「人手不足など仕事の都合上難しい」（22%）とあわせて、昨年と同様の結果になりました。

また、「コロナ禍において有給休暇の取得は簡単だったか、もしくは困難だったか」という設問においては、「変化なし」との回答が、日本は世界で最も多い結果になりました。このようなことから、有給休暇取得という観点では、日本における新型コロナの影響は他の地域と比較すると少なかったのかもしれない。

直近で取得した休暇の過ごし方については、76%の日本人が「どこにも行かずに家で過ごした」と回答しており、直近の休暇におけるステイホーム率が日本は世界で最も高い結果となりました。日本人の休暇取得日数は例年とあまり変わらないものの、多くの人々が感染しないように外出を控えていたことがうかがえます。旅行の代わりとして休暇中に楽しんだことでは、「動画配信サービスの番組や映画を見る」（32%）という回答が1位となりました。

続いて「ゲームをする」（21%）、「料理をする」（19%）、「読書をする」（19%）という回答が多く、家の中でできる楽しみを見つけることで、2020年の休暇を楽しんでいた様子が見えます。

* 詳細はこちらからご確認いただけます。

「世界16地域 有給休暇・国際比較調査 2020 発表」（エクスペディア（オンライン旅行代理店））

<https://welope.expedia.co.jp/press/50614/>